

資料 1

第 9 期逗子市高齢者保健福祉計画策定に係るアンケート調査概要

1 目的

市内高齢者の生活実態や介護サービスの利用に対する実態調査等を実施し、逗子市高齢者保健福祉計画（令和 6 年度～ 8 年度）を策定するための基礎資料を作成することを目的とする。

2 調査概要

(1) 調査対象（令和 4 年 10 月 1 日時点の要介護・要支援認定者から無作為抽出 600 名程度）

ア 要介護・要支援認定者向け実態調査 600 名程度

イ 上記、要介護要支援認定者の介護者向け実態調査 600 名程度

ウ 介護サービス提供事業所向け実態調査 310 事業所程度

※逗子市内の全事業所及び横須賀市、鎌倉市、葉山町、横浜市金沢区内の事業所で令和 4 年 4 月以降に本市被保険者に対する給付実績のある事業所を対象。

※対象数は、抽出日（令和 4 年 10 月 1 日予定）を基に実施するため、変更の可能性あり。

エ 介護支援専門員向け実態等調査 280 名程度

※逗子市、横須賀市、鎌倉市、葉山町及び横浜市金沢区内で本市被保険者に対する居宅介護支援業務に従事している介護支援専門員並びに本市被保険者が入所している施設の介護支援専門員全員を対象。

※対象数は、抽出日（令和 4 年 10 月 1 日予定）を基に実施するため、変更の可能性あり。

(2) 調査票

前回の調査項目を基に素案を作成し、逗子市高齢者保健福祉計画懇話会で検討し、決定。

(3) 調査方法

調査票は、郵送による配付、回収。（調査協力の礼状を兼ねた督促状は期間中に 1 回郵送。）

(4) 調査期間（予定）

調査票配布日 令和 4 年度 11 月初旬 調査票回収期限 令和 4 年度 12 月中旬

(5) 調査結果の集計、分析、考察

ア 回収された調査票を電子計算機により入力、集計した後、調査結果の分析、考察を行う。

イ 単純集計、クロス集計。

ウ 意見、要望の傾向や潜在的ニーズの分析。

エ クロス集計は、属性と目的調査項目。